

物部川地域アクションプラン 実行3年半の取り組みの総括 [個別]

【評価方法】

R5数値目標に対するR5年度末見込みまたは直近の実績の達成状況により
5段階評価を実施

区分	数値目標に対する評価基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上 110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上 100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満

物 部 川 地 域 本 部

令和5年9月12日（火）

指標	評価の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満

【地域アクションプラン 総括シート】
 <<物部川地域>>

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
1 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト 《香南市、香美市》 日本一の生産量を誇るJA高知県香美地区のニラの生産拡大に向けた産地ビジョンの実現に向け、「既存農家の経営安定」、「規模拡大志向農家の支援」、「新規就農者、品目転換農家の支援」の3つのプロジェクトを推進し、生産拡大を実現する。また、集出荷体制の高度化や加工業務需要への対応強化、民間企業との協働、地元飲食店での新メニュー開発、機能性の検証等を行い、ニラの消費拡大につなげ産地強化への取り組みを進める。 【実施主体】 ・◎JA高知県（香美地区） ・◎JA高知県（香美地区ニラ部会） ・◎（一社）香南市観光協会 ・◎（一社）香美市観光協会 ・香南市 ・香美市 ・シミズ・アグリプラス㈱	農業	<生産上の対策> ・収量向上に向けた個別指導各4名/年（R2～） ・グリーンカレッジの開催（H28～） ・ニラでの新規就農支援（R2～） ・そぐりセンター利用説明会・個別巡回・定例会の開催（R2～4）、横持ち輸送ルート構築（R4）によるそぐりセンター受込量拡大 <流通、販売上の対策> ・集出荷場再編計画検討（R2～3） ・土佐山田第2集出荷場整備（R4） <消費拡大、認知度向上の対策> ・ニラレシビカードの作成及び県内外の道の駅等への配布（R2） ・ニラクラスタープランの策定に係る関係者協議4回（R3） ・イベントでのニラメニューの提供（R2～）	<生産上の対策> ・農家7名が目標収量(6t/10a)を達成 ・グリーンカレッジ研修会の開催：9回、のべ52名参加 ・7名が新規就農（R2.4～R5.3） ・そぐりセンター登録者数：R2.4：22名→R5.6：46名 <流通、販売上の対策> ・土佐山田第2集出荷場を改築し、包装機を2機増設したことで、出荷調製作業効率が改善（R5.3） ・横持ちシステムによるそぐりセンター利用（JA出荷）量の拡大（R5.5時点：30,576kg/月） <消費拡大、認知度向上の対策> ・ニラを使ったレシビカードを配布することで認知度向上につなげることができた。（15,000部を作成・配布） ・ニラの生産拡大に向けた取組の継続発展に向け方向性を決定した。 ⇒ニラクラスタープランの策定（R4,3） ・ニラメニューの提供により、認知度向上につなげることができた。 ⇒イベント参加数（R4）：19回、延べ36日	ニラ販売額 <目標値（R5）> 29.7億円 （年間） <出発点（R元）> 23.3億円 （年間） ※園芸年度：8～7月	<R5年度末見込> — （年間） <直近の実績> 25.6億円 （年間） 【R4年度末】 ※園芸年度：8～7月	B	[評価] ・目標値には達していないものの生産量は増加している。 ・個別指導による持込みニラの品質改善によりそぐりセンターの受込可能量が増加した。また利用説明会等での新規利用者開拓及び持込みシステム改善によりそぐりセンター受込量が拡大した（R5.5時点：30,576kg/月）。 ・R2～R3は新型コロナウイルス感染症により、ニラメニューを提供するイベントの開催がなかったが、R4からは徐々にイベントも再開されるようになっており、出店することで認知度向上につなげることができた。 [課題] ・新規就農者等の栽培技術が高くない生産者の技術レベル向上により、農家経営を安定させるために支援を継続することが必要。 ・流通の効率化のためにはそぐりセンターへの安定的な持込みが確保が必要。 ・そぐりセンターの稼働効率を上げるためには、更なる品質向上が必要。 ・イベントへの参加店舗の増加。	・生産者の反収増加による所得の安定 ・既存農家の生産規模拡大及び新規就農者の確保による産地の維持・発展 ・JA出荷への誘導による流通の安定 ・ニラ品質向上によるそぐりセンターの作業効率及び受け込み可能量の増加。
				ニラメニューの売上高 <目標値（R5）> 170万円 （年間） <出発点（H30）> 81.8万円 （年間）	<R5年度末見込> — （年間） <直近の実績> 46.9万円 （年間） 【R4年度末】			

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性		
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価			
<p>2 南国市農業生産拡大プロジェクト 《南国市》</p> <p>南国市の主要農作物（シシトウ、ニラ、ピーマン類）及び還元水素水を活用した野菜「還元野菜」の産地の維持・拡大のため、新規設立農業法人をはじめとする関係機関との協力により、コスト削減や品質改善、出荷課題の解決などに取り組み、生産・流通・販売上の課題を解決し、南国市の農業生産の拡大及び「南国野菜」「還元野菜」のブランド化を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎JA高知県（土長地区） ◎JA高知県出資農業生産法人(株)南国スタイル Aitosa(株) (株)イチネン農園 (株)トリムエレクトリックマシナリー 	農業	<p>〈シシトウの生産拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 四電の農業参入 農業参入協定締結及び新会社 Aitosa(株)設立 (R2) Aitosa(株)のハウス整備 (R3) Aitosa(株)への技術支援 (R3~) 新規就農者の経営安定に向けた技術支援 (R2~) <p>〈ニラの生産拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 調製作業省力化設備の設置に向けた協議 (R2~3) 調製作業省力化設備の運営 (R3~4) <p>〈ピーマン類の生産拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> (株)イチネン農園の農業参入 農業参入協定締結 (R4.7) (株)イチネン農園のハウス整備 (R4) (株)イチネン農園への技術支援 (R4~) <p>〈「還元野菜」の生産拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> メロン、イチゴ等の生産支援 栽培管理への助言 	<p>〈シシトウの生産拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> Aitosa(株)への栽培計画作成支援や技術指導等により収量目標を達成できた。 ⇒11.8t/10a (R4、目標10t) 11.5t/10a (R5.6時点、目標12t) シシトウ新規就農者に対する栽培指導により経営の安定化につながった。 ⇒収量目標達成農家 (R5.4時点) 4戸/5戸 <p>〈ニラの生産拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関等との連携により共同での調製作業省力化設備を設置した (R3)。 出荷量が安定しない等の理由により運営の継続が困難となり、運営を停止した (R4.8)。 運営停止後、JAと調製実態を確認したところ、農家個々で調製作業員を確保し出荷を継続している (R5.5時点)。 <p>〈ピーマン類の生産拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> (株)イチネン農園への栽培計画作成支援や技術指導等を行ったが、収量目標は達成できなかった。 ⇒11.9t/10a (R5.4時点、目標20t) <p>〈「還元野菜」の生産拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存農家への支援は継続して行っているが、新たな農家の獲得までには至っていない。 	シシトウ生産量	令和5年度末見込	B	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> シシトウについては、生産量は目標値には達していないものの、Aitosa(株)の参入や新規就農者の栽培技術向上により、産地の強化が図られている。 ニラについては、生産量は目標値を達成。しかしながら、出荷調製向けの集荷量が安定せず、共同での出荷調製の体制づくりには至らなかった。 ピーマン類については、(株)イチネン農園の参入により、生産量は目標値には達していないものの、R元から増加している。 還元野菜の栽培に取り組んでいる農家等では栽培技術の向上等もあり、収量の増加が実現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業参入企業の規模拡大や栽培技術向上に向けた支援の継続 新規就農者への営農支援の継続 		
				ニラ生産量	令和5年度末見込				A	<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> Aitosa(株)の規模拡大に向けた事業計画作りと施設整備、経営安定に向けた支援が必要。 (株)イチネン農園の栽培技術の向上を図ることで、出荷量や経営を安定化させる必要がある。 還元野菜の生産拡大に向けた新たな農家等の確保が出来ていない。
				ピーマン類生産量 (ピーマン・ハフリカ)	令和5年度末見込				B	
				「還元野菜」の栽培協力農家数	令和5年度末見込				B	

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性	
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価		
<p>3 南国市野菜の地産地消・地産外商の拡大による地域農業の活性化</p> <p>《南国市》</p> <p>南国市産の野菜（「還元野菜」、「南国野菜」）等、農産物の地元での消費拡大（地産地消）及び加工品の開発・販売（地産外商）を進めることにより、南国市の農業をはじめとした地域産業の活性化を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎JA高知県土長地区出資農業生産法人(株)南国スタイル ◎南国市 JA高知県（土長地区） (株)トリムエレクトリックマシナリー (一社)南国市観光協会 南国市内食品加工事業者 	農業	<p>〈「還元野菜」の販路拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「還元野菜」の県外への販路拡大（H30～） ・トリム顧客向け「還元野菜」セットの販売（H30～） ・トリム製品販促素材としての「還元野菜」活用（H30～） ・還元野菜のインターネット販売（R2～） <p>〈「南国野菜」の地元消費拡大（地産地消）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校へ給食用食材の配送（H21～） ・市内業務筋への食材の定期配送（H21～） ・農家レストラン「まほろば畑」のオープン（H22～） ・農家レストラン「あぐり食堂ほっと」のオープン（H31～） <p>〈「南国野菜」を使った加工品の開発・販売（地産外商）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品づくりのための市単独補助金の創設（H24～） ・かざぐるま市における食品加工施設の整備（H30） ・道の駅風良里で新商品開発ワークショップの実施（H30～R2） ・商品開発・販売開始（R2） <p>〈観光との連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「還元野菜」を活用した農業体験モニターツアーの実施（R元） 	<p>〈「還元野菜」の販路拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トリムユーザーへの販売により、還元野菜の売上高は向上している。 <p>⇒R元：587万円→R4：784万円</p> <p>〈「南国野菜」の地元消費拡大（地産地消）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校への給食用食材の配送システムの整備・運用により、地元野菜の供給割合の向上が実現している。 <p>⇒学校給食における地元野菜の供給割合 H30：26.28%→R4：28.38%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家レストラン「まほろば畑」による地元野菜の広報の実施 <p>〈「南国野菜」を使った加工品の開発・販売（地産外商）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市中小企業支援補助金の活用等により、加工食品の開発・販売が実現している。 <p>⇒15品開発済</p>	<p>「還元野菜」の売上高</p> <p><目標値（R5）> 1,000万円 （年間）</p> <p><出発点（H30）> 617万円 （年間）</p>	<p><R5年度末見込> — （年間）</p> <p><直近の実績> 917万円 （年間） 【R4年度末】</p>	B	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外が主であるトリムユーザーへの還元野菜の販売額が増加した。 ・給食用食材の地元野菜の供給割合が向上しているが、他の食材の兼ね合いからこれが上限と考えられる。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・還元野菜の機能性について、成分分析では顕著な差は認められないことから、差別化ができません、販売先がトリムユーザーに限定されている。 ・まほろば畑の運営団体が高齢化してきている。 ・加工品開発への支援策である南国市中小企業支援補助金の利用が低迷しており、事業者の商品開発意欲が低下しているおそれ。 	<p>・還元野菜の販売について、現在の販売ルートを持続しつつ、販路拡大に向けて、事業者との協議を進めていく。</p> <p>・まほろば畑の運営について、現在の活動を継続するとともに、運営団体と今後について協議を進めていく。</p> <p>・加工食品開発について、支援策の広報も行いながら、事業者への支援を継続して行っていく。</p>	
				<p>学校給食における地元野菜の供給割合（金額ベース）</p> <p><目標値（R5）> 27.0% （年間）</p> <p><出発点（H30）> 26.3% （年間）</p>	<p><R5年度末見込> — （年間）</p> <p><直近の実績> 28.38% （年間） 【R4年度末】</p>				A
				<p>地域資源を活用した新商品数</p> <p><目標値（R5）> 12品目 （R2～5累計）</p> <p><出発点> 13品目 （H28～R元累計）</p>	<p><R5年度末見込> — （R2～5累計）</p> <p><直近の実績> 15品目 （R2～4累計） 【R4年度末】</p>				

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>4 香美市における「物部ゆず」の総合的な産地強化対策</p> <p>《香美市》</p> <p>日本一の青果ユズ生産量を誇る「物部ゆず」産地の維持に向け、「新規就農者、認定農業者等担い手の確保・育成」、「集出荷場の整備・作業効率の向上」、「園地の整備、流動化及び機械化・新技術導入による生産向上」を推進する。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎JA高知県（香美地区物部柚子生産部会） JA高知県（香美地区） 香美市 農地中間管理機構（高知県農業公社） NPO法人いなかみ 	農業	<p>〈担い手対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修生受入体制の整備（R2～） 新規就農者の育成支援（R2～、25回） 新規就農者の確保に向けた活動（R2～、25回） 親元就農の促進に向けた活動（R2～、2回） <p>〈流通、販売上の対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬至玉出荷予測のデータ解析に基づく解析（R2～） 冬至出荷作業カイゼンへの取組（R2～R3） <p>〈生産向上対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 青果率向上技術の指導（R2～、79回） 意向調査の実施（R2～、3回） 意向調査に基づいた生産資材、園地流動化にむけた活動（R3～） 園地集積に向けた園地台帳作成（R4～） 	<p>〈担い手対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ユズの新規就農者1名、新規就農予定者2名の確保（R2.4～R5.3） 既存新規就農者2名が経営目標達成 <p>〈流通、販売上の対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒出荷予測誤差の改善（R3年産20.7%→R4年産6.5%） 人員配置の見直しにより、冬至出荷作業時の作業中断回数の減少 <p>〈生産向上対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒青果率の向上（R2年産50.5%→R4年産51.2%） 園地情報収集用紙回収率35%（60戸/170戸）、園地地図収集農家5戸（R4） 	<p>ユズ販売金額（JA入金額）</p> <p><目標値（R5）> 5.0億円 （R2～R5平均）</p> <p><出発点> 4.9億円 （H28～R元平均）</p> <p>※園芸年度：9～8月</p>	<p><R5年度末見込> — （R2～R5平均）</p> <p><直近の実績> 4.5億円 （R元～R4平均）</p> <p>※園芸年度：9～8月</p>	B	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷量及び販売金額は目標数値には達しなかったものの、担い手対策への取組によって、新規就農者1名と研修生1名及び研修予定者1名の確保につながった。また、園地台帳作成に着手し、担い手への園地集積に向けた仕組み作りができた。 流通、販売上の対策に取り組んだ結果、出荷予測精度の向上につながった。 生産向上対策に取り組む、青果率向上につながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者の早期収入安定を図るための、成木園地継承の仕組み作りができていない。 	<p>これまでの取り組みを継続することにより、担い手を確保及び育成し、産地の生産量の維持向上を狙う。また、精度の高い出荷予測による市場からの信頼と青果率向上による販売金額の増加を狙う。</p>
				<p>青果ユズ出荷量</p> <p><目標値（R5）> 770t （R2～R5平均）</p> <p><出発点> 760t （H28～R元平均）</p> <p>※園芸年度：9～8月</p>	<p><R5年度末見込> — （R2～R5平均）</p> <p><直近の実績> 724t （R元～R4平均）</p> <p>※園芸年度：9～8月</p>			
<p>5 「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上</p> <p>《南国市》</p> <p>旧直販所「あけぼの市」を国道195号通称「あけぼの街道」沿いに移転拡充した「なの市」、平成30年にオープンした「畑の食堂Copan」で、地域農産物の販売や地域資源を活用した加工品の開発・販売及び飲食物の提供を行い、地域農業者の所得向上を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎畑なの工房 ◎畑の食堂Copan JA高知県（土長地区長岡支所） 	農業	<p>〈組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み〉</p> <p>【畑なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> リーダー会の定例開催（月1回）による、経営状況の把握及び経営改善に向けた取り組みの確認・徹底（R元～） POP、店舗陳列に関するアドバイザー導入2回（R2～R3） <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> 六次産業化セミナー参加による商品開発（R2） オンラインショップの開設（R2） POPの掲示によるPR強化（R2～） <p>〈来客増に向けた取り組み〉</p> <p>【畑なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> 店舗レイアウトの見直し（R4～） <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新商品（ディップソース、ミールセット）の販売開始（R2） にっぽんの宝物Japan大会2020-2021 調理・乳製品部門 グランプリ受賞畑のディップソース（R2） スチームコンベクション、充填機導入（R3事業再構築補助金） キッチントレーラー導入（R3事業再構築補助金） 	<p>〈組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み〉</p> <p>〈来客増に向けた取り組み〉</p> <p>【畑なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> 売上高 R2：9,772万円 R3：9,208万円 R4：8,303万円 <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> 畑のディップソース取扱事業者：11事業者（R5.6末） 売上高 R2：1,420万円 R3：1,324万円 R4：1,403万円 	<p>直販所等の売上高</p> <p><目標値（R5）> 1億3,740万円 （年間）</p> <p><出発点（H30）> 1億2,533万円 （年間）</p>	<p><R5年度末見込> — （年間）</p> <p><直近の実績> 9,707万円 （年間）</p> <p>【R4年度末】</p>	C	<p>【評価】</p> <p>【畑なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣農家からの農産品供給量低下などにより年々売上が減少しており改善に向けた取組が急務となっている。 <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響もあり売上は横ばいであるが、コロナの収束に伴いR4年度の第4四半期からは増加傾向にあるためR5年度は増加が期待できる。 <p>【課題】</p> <p>【畑なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営の安定化 主力商品である野菜類の集荷 <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の売上増加に向けた店舗及び営業担当スタッフの確保 	<p>【畑なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者への出品協力依頼 新規出品者の開拓 定期的なイベントの実施 組織体制及び運営方法の改善 <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> ディップソース取扱事業者の拡大 イベント等への出店 近隣農家以外の県内野菜を活用したメニュー・加工品の提供

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>6 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み</p> <p>《南国市》</p> <p>坂本龍馬の逸話を生かした「シャモ鍋」等の新たなメニューを創出し、イベントでの販売や加工品販売により、県内外に向けてご当地グルメとして情報発信を行う。</p> <p>また、ごめんケンカシャモの飼育・安定供給体制を整備し、トレーサビリティの確立等による高付加価値化を図ることで、ブランド鶏肉としての外商戦略を展開していく。</p> <p>これらの生産から販売までの過程を通して、ごめんケンカシャモを知ってもらい、南国市を訪れてもらう『地産「来」消』の仕組みの確立を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎企業組合ごめんシャモ研究会 南国市商工会 南国市 	農業	<p>〈ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知農業高校と連携した孵卵(R2~) 食鳥処理の外注(R2~) 飼育環境の改善(R3~) 飼育記録の収集・蓄積(R3~) <p>〈加工品開発及びご当地グルメとしての確立〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工品開発(R2) ギフト販売(R2~) イベント出店(R3~) 直営のシャモ料理専門店「軍鶏伝」の運営(H27~) <p>〈組織の強化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 定例会の開催(H24~) 	<p>〈ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立〉</p> <p>〈加工品開発及びご当地グルメとしての確立〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 貯卵から販売までの課程を一括管理出来る体制の構築 ギフト販売 R2: 1,065セット R3: 945セット R4: 981セット 	<p>売上高</p> <p>〈目標値(R5)〉 6,000万円 (年間)</p> <p>〈出発点(H30)〉 5,178万円 (年間)</p>	<p>〈R5年度末見込〉 — (年間)</p> <p>〈直近の実績〉 3,492万円 (年間) 【R4年度末】</p>	D	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産データの整理により、受精率、孵化率、出荷率等の見える化が図られた。 鳥獣被害対策により、イタチやネズミ等の被害がほぼなくなった。 コロナ禍の影響により売上が目標を大幅に下回ったが、R5の5月以降は回復傾向にある。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の需要の減少により縮小していた生産量の回復 コロナ禍で取引を止めていた事業者との取引の再開、新たな取引先の開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 専門家の支援により新たに経営計画を策定し、中長期的な事業戦略を明確にする。 専門家等の助言・指導により、増産に向けて飼育技術の向上を図る。 営業力強化に向けた体制の検討
				<p>飼育羽数</p> <p>〈目標値(R5)〉 3,000羽 (年間)</p> <p>〈出発点(H30)〉 2,341羽 (年間)</p>	<p>〈R5年度末見込〉 — (年間)</p> <p>〈直近の実績〉 1,062羽 【R3年度末】</p>			
<p>7 物部川地域の民有林における原木の増産</p> <p>《物部川地域全域》</p> <p>物部川地域の民有林において事業地の拡大と生産性の向上を図り、原木の増産に取り組むことにより、森林所有者の所得向上と山林地域の振興に資する。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎香美森林組合 ◎物部森林組合 ◎林業事業者等 	林業	<p>〈事業地の拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 森の工場の維持・拡大 森林経営管理制度を通じた事業地の拡大 <p>〈生産性の向上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産性の高い作業システムの活用促進 <p>〈担い手の確保〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業管理を担当する職員の確保、プランニング等のスキル向上 即戦力として林業大学卒業生の積極的な雇用 	<p>〈事業地の拡大〉</p> <p>森の工場の維持・拡大により事業地を確保(拡大した団地数と面積)</p> <p>R2: 4団地 791 ha R3: 2団地 123 ha R4: 3団地 322 ha</p> <p>〈生産性の向上〉</p> <p>高性能林業機械導入支援及び工期調査の実施</p> <p>R2: グラップル付トラック 1台 スイングヤーダ 1台 マックスワルド 1台導入</p> <p>R3: プロセッサ 1台導入 オートジョーカー、 マックスワルド工期調査実施</p> <p>〈担い手の確保〉</p> <p>プランナー研修支援 5回 林業大学卒業生の雇用 R2~4: 9人</p>	<p>原木生産量 (民有林のみ)</p> <p>〈目標値(R5)〉 56,880m³ (年間)</p> <p>〈出発点(H30)〉 50,678m³ (年間)</p>	<p>〈R5年度末見込〉 46,670m³ (年間)</p> <p>〈直近の実績〉 45,895m³ (年間) 【R4年度末】</p>	C	<p>[評価]</p> <p>原木生産増に向け、森の工場の継続(更新)・新規認定により事業地の拡大を図ったものの目標値には達していない。</p> <p>また、管内事業者の高性能林業機械導入や、作業道の開設等を支援することで生産性の向上につなげるとともに、各事業者の中核となるプランナーの育成を支援した。</p> <p>さらに、事業者従事者の高齢化対策として、林業大学卒業生の雇用を積極的に支援。</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 原木生産量の確保に向けた事業地確保 高性能林業機械導入等による生産性向上の推進 林業従事者の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 原木生産量の確保に向けた森の工場の維持・拡大 高性能林業機械導入支援 林業大学卒業生等の雇用支援

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>8 シイラ等の水産物加工による外商の拡大</p> <p>《香南市》</p> <p>高知県漁協手結支所がシイラや養殖魚等の水産物の加工を推進し、県内外への販路を拡大することによって、浜値の向上と付加価値の増を通じて、漁業者の所得向上を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎高知県漁業協同組合手結支所 香南市 (一社)香南市観光協会 	水産業	<p>〈販売事業の拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食への販売維持 県内外の取引先との取引の継続 新たな販路開拓のための営業活動 <p>〈販売形態の拡充〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 真空包装機の導入による商品拡充 <p>R3年度香南市産業振興計画施設等整備事業費補助金 総事業費 1,584千円 補助額 360千円 (補助率1/4)</p> <p>〈認知度の向上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元におけるPR体制づくり 知名度向上に向けた情報発信 	<p>〈販売事業の拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食の販売先：4件 (R5.4時点) 新規取引開始 (R2～)：13件 <p>〈販売形態の拡充〉</p> <p>⇒真空包装機を活用した冷凍フィレ等の生産</p> <p>〈認知度の向上〉</p> <p>⇒量販店内での広報によるPR</p>	<p>水産物の販売額</p> <p><目標値 (R5)> 5,400万円 (年間)</p> <p><出発点> 4,939万円 (H28～30平均)</p>	<p><R5年度末見込> — (年間)</p> <p><直近の実績> 5,616万円 (年間) 【R4年度末】</p>	A	<p>【評価】・【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年、数件の新規取引先も確保し、シイラ以外の魚種の取り扱いも増えていることで、販売額は漁模様による増減はあるものの、概ね安定している。 一方、取引先別売上高では1社が全体の40～50%を占めており、今後も取引額の増加が見込まれているが中長期的なリスクヘッジは十分ではないと言える。 漁協担当職員は当該事業に10年以上携わっており、ノウハウは蓄積されている一方で、当該職員のスキル頼りになっている側面もある。そのため、事業の組織的な承継も中長期的には視野に入れる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 取引先の偏重の解消には他の取引先との取引増や新規取引先の確保が重要であることから、引き続き新規取引先の確保や真空包装機も活用しての商品拡充等に努めていく。 体制強化のため支所職員も増員したことから、OJTによるノウハウ継承を進めていく。
<p>9 高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進</p> <p>《南国市、香南市》</p> <p>ブドウ栽培からワインの醸造・販売までの一貫した体制の構築に向け、ブドウ栽培面積の拡大や醸造施設の建設、人材の育成等に取り組むとともに、県内各地の遊休農地でのブドウ栽培の実現と、高知県の食材とのコラボレーションやPR活動を行い、県内産ワインとしてのブランドを確立し、県内にワイン文化を醸成し、土佐ワインバレー構想の実現を目指す。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎井上ワイナリー(株) 井上石灰工業(株) 南国市 香南市 	商工業	<p>〈栽培面積の拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ほ場確保に係る市町村との協定締結 (R元～) <p>〈醸造・生産体制の確立〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ワイン醸造施設建設 (R2) 産業振興推進総合支援事業費補助金 R2：50,000千円 のいち醸造所グランドオープン (R4) ワイン増産に向けたステンレスタンク設備の追加 (R5) <p>〈ブランドの確立〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人会員制を採用し、県産ワインファンへの直接販売 ECサイト、小売店等での販売 (R3～) <p>〈他の事業者との連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 龍河洞での熟成保管の実施 (R元～) グロサリー商品の開発 (R元～)、販売 (R3～) 	<p>〈栽培面積の拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ほ場面積：182アール/13カ所 (H25～R4) ブドウ生産量：17,049kg (R4) <p>〈醸造・生産体制の確立〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ワイン販売：1,467万円 (R3) <p>〈ブランドの確立〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人会員数：515名 (R元) → 600名 (R3) 	<p>商品売上高</p> <p><目標値 (R5)> 5,912万円 (年間)</p> <p><出発点 (H30)> 1,057万円 (年間)</p>	<p><R5年度末見込> — (年間)</p> <p><直近の実績> 7,120万円 (年間) 【R4年度末】</p>	S	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内ほ場の拡大によりワイン生産量が増加している。 メディアやイベント等を活用した積極的なPRにより個人会員が増加するなどブランドの確立が進んでいる。 のいち醸造所がグランドオープンして以降、売上は計画を上回っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産量増加に向けたさらなるほ場の拡大 新商品ワインの開発や品質向上に向けた醸造技術の改良 他の事業者と連携したグロサリー商品の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 県内市町村と連携した県内ほ場の拡大による生産量の増加 醸造設備の増強及び飲食施設の整備 地元食材を活用した新商品ワインの開発 メディアやイベント等を活用したPRによる認知度向上と個人顧客の獲得 他の事業者と連携したグロサリー商品の開発 周辺施設と連携した観光振興の取り組みの推進

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性	
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価		
<p>10 ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化</p> <p>《南国市》</p> <p>「ものづくり、ひとづくり、まちづくり」の拠点施設となる、ものづくりサポートセンターの整備を契機として、中心商店街がものづくりを志す人材が集うまちとなるよう、交流人口の拡大や商店街の活性化に資する取り組みを行う。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎南国市 ◎南国市商工会 ◎(株)海洋堂高知 ◎南国市中心市街地振興協議会 	商工業	<p>〈中心市街地の賑わい創出〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ごめんまち将来像プラン」の策定(H27) ・中心市街地振興協議会による中心市街地振興計画の策定及び進捗管理 R2年度 第1期計画(R2~4年度) R4年度 第2期計画(R5~7年度) ・ものづくりアトリエtete(現ごめんく)の開設(R元~) <p>〈各種イベントの開催や空き店舗の活用等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消ごめんの軽トラ市開催(H21~) ・「ごめんteteマルシェ」の開催(R元~) ・空き店舗調査(R2~) ・チャレンジショップの整備・運営 <p>〈拠点施設の整備・運営等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)海洋堂と南国市による連携協定の締結(H28) ・中心市街地活性化協議会による南国市地域経済活性化計画の策定(H30) ・地域経済活性化拠点施設整備等事業費補助金(R元~2)の活用(総事業費:11億9,479万円) ・ものづくりサポートセンターオープン(R3,3) ・定例会開催による進捗管理(R3~) 	<p>〈中心市街地の賑わい創出〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地振興計画アクションプランに基づくイベントの開催 ・アトリエteteでのものづくりイベントの開催(66回) ⇒延べ451人参加 ・スタンプラリーの開催(R3) ⇒応募数218通、想定消費額120万円 ・まちあるきマップの5,000部配布(R4) <p>〈各種イベントの開催や空き店舗の活用等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消ごめんの軽トラ市開催(5回) ⇒延べ6,722人参加 ・「ごめんteteマルシェ」の開催(8回) ⇒延べ7,295人参加 ・チャレンジショップの整備 ⇒チャレンジャー3者の出店(2者卒業、1者出店中。卒業1者が開業に向けて検討中。) <p>〈拠点施設の整備・運営等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりサポートセンターの運営 ⇒入場者数164,748人(R3,3~R5,6) ・ものづくりサポートセンターでのイベント開催(累計12回) ⇒25,980人参加 ・ものづくりサポートセンターと海洋堂ホビー館が連携した周遊企画の実施 	<p>エリア内の売上高</p> <p><目標値(R5)> 12億5,624万円(年間)</p> <p><出発点(R2)> 11億5,569万円(年間)</p>	<p><R5年度末見込> —(年間)</p> <p><直近の実績> 10億9,062万円(年間) 【R4年度末】</p>	B	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でイベントを開催出来なかった期間があるが、行動制限緩和後は、イベントの再開により、中心市街地の賑わいを取り戻しつつある。 ・拠点施設「ものづくりサポートセンター」では、途切れることなく企画展を開催しており、来場者数は目標を上回っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントによる賑わい創出が日常的な賑わい創出に結びついていない。 ・拠点施設「ものづくりサポートセンター」への来場者が中心市街地にまで足を伸ばしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後整備が計画されている都市計画道路や図書館との連携も考慮した中心市街地の活性化策の検討 ・拠点施設「ものづくりサポートセンター」の来場者を中心市街地に周遊させる仕組みづくりの検討 ・チャレンジショップの運営及びチャレンジショップ卒業生のエリア内出店への支援 	
				<p>新規出店数</p> <p><目標値(R5)> 12件(R2~5累計)</p> <p><出発点(R2)> 0件</p>	<p><R5年度末見込> —(年間)</p> <p><直近の実績> 6件(R2~4累計) 【R4年度末】</p>				D
				<p>拠点施設の入場者数</p> <p><目標値(R5)> 33,000人(年間)</p> <p><出発点(R2)> 8,428人(年間)</p>	<p><R5年度末見込> —(年間)</p> <p><直近の実績> 68,860人(年間) 【R4年度末】</p>				

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>11 ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の推進</p> <p>《香南市》</p> <p>地域の自然や食材を生かした賑わいの拠点づくりを進めるため、ヤ・シィパークを核にした仕組みづくりや体制づくりに官民一体となって取り組み、地域の活性化を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎(株)ヤ・シィ 香南市 	商工業	<p>《売上アップに向けた取り組みの強化》</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県産品商談会への出展 (R2・R3) 「まるごと高知」との商談 (R2) 食品産業総合支援事業費補助金を活用したPR強化 県産HACCP第2ステージの認証取得 (R2) <p>《ヤ・シィパークを核とした地域の活性化の取り組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ヤ・シィパーク活性化推進協議会 (H30～) 四国初のユニバーサルビーチ実現に向けた取り組み開始 (R2～) 今後の公園整備等の方向性を整理 (R2～R4) インクルーシブ化に係る設計委託 (R4) 	<p>《売上アップに向けた取り組みの強化》</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工所兼店舗の売上高 H30: 2,687万円 →R4: 2,168万円 「道の駅やす」入込数 R元: 28.67万人→R4: 25.8万人 マリンスポーツ体験受入 : 507人 (R元.7～R4.12) 	<p>加工所兼店舗の売上高</p> <p>＜目標値 (R5)＞ 5,587万円 (年間)</p> <p>＜出発点 (H30)＞ 2,687万円 (年間)</p>	<p>＜R5年度末見込＞ — (年間)</p> <p>＜直近の実績＞ 2,168万円 (年間) 【R4年度末】</p>	D	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響も加わり、店舗の売上高及び入込客数ともにR2～4は目標を下回っている。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営改善、外商活動強化 店舗の運営体制強化 多様な意見を踏まえたヤ・シィパークのインクルーシブ化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 集客に向け、新メニューの開発を始めとした店舗の磨き上げ及び店舗の効率的な運営の検討 デジタル化によるパークの効率的運営の検討 インクルーシブパークに向けた取り組みに合わせたソフト事業の検討
				<p>「道の駅やす」入込数</p> <p>＜目標値 (R5 (暦年))＞ 29.8万人 (年間)</p> <p>＜出発点 (R元 (暦年))＞ 28.6万人 (年間)</p>	<p>＜R5年度末見込＞ — (年間) 【R5 (暦年)】</p> <p>＜直近の実績＞ 25.8万人 (年間) 【R4 (暦年)】</p>			
<p>12 香南市における特産品づくりと販売の促進</p> <p>《香南市》</p> <p>香南市の地場産品を事業者が開発し、香南市のカタログ販売やネット販売、ふるさと納税の返礼品などの販路を活用し、香南市全体で販売活動を行い売り出すことで、香南市の知名度の向上や地域の農業者、商業者等の所得の向上を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎(一社)香南市観光協会 香南市内の事業者 香南市 	商工業	<p>《地場産品の開発、販売促進》</p> <ul style="list-style-type: none"> 新事業者の開拓 取扱品数の増加 複数事業者からなるセット商品開発 季節商品の開発 <p>《地場産品のPR》</p> <ul style="list-style-type: none"> (一社)香南市観光協会 ギフトカタログでの販売 (H22～) ECサイト「香南まるごと旨市」 <ul style="list-style-type: none"> 開設 (H23～) リニューアル (R3～4) イベントでの特産品PR・販売 (R4: 25回) 香南市 (ふるさと納税) カタログ発行 (H29～) 特設サイト「香南日和」 <ul style="list-style-type: none"> 開設 (R元～) 事業者PR動画掲載 (R2) 掲載ポータルサイトの拡大 <ul style="list-style-type: none"> ふるさとチョイス (H26～) 楽天市場、ふるなび (H29～) auPay (H30～) さとふる、JAL、ANA、セゾンふるさと納税 (R4～) 掲載支援 (R4～) コンサル支援 (R4～) 	<p>《地場産品の開発、販売促進》</p> <p>《地場産品のPR》</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規事業者の開拓、取扱品数の拡大、PR <p>⇒特産品売上高</p> <p>H30: 1億1,975万円 →R元: 1億4,550万円 →R2: 1億6,966万円 →R3: 1億1,016万円 →R4: 1億1,240万円</p> <p>(内訳)</p> <p>カタログ販売 H30: 416万円 →R元: 683万円 →R2: 1,063万円 →R3: 990万円 →R4: 1,032万円</p> <p>ふるさと納税返礼品額 H30: 1億1,559万円 →R元: 1億3,867万円 →R2: 1億5,903万円 →R3: 1億26万円 →R4: 1億208万円</p>	<p>特産品の売上高</p> <p>＜目標値 (R5)＞ 1億2,500万円 (年間)</p> <p>＜出発点 (H30)＞ 1億1,975万円 (年間)</p>	<p>＜R5年度末見込＞ — (年間)</p> <p>＜直近の実績＞ 1億1,240万円 (年間) 【R4年度末】</p>	B	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> 取扱事業者は小規模事業者が多く、自社では域外への販路拡大が難しい事業者であるが、これらの事業者の商品をHP・カタログを通じて紹介でき、認知度の向上が図られた。 コロナ禍でも行動制限が緩和されたR4ではイベントでの特産品PRを行い、認知度の向上が図られた。 カタログ販売では、PRの成果等により、R4年度の販売額はH30年度の248%となっている。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報の充実 認知度向上 	<ul style="list-style-type: none"> 掲載支援業者によるポータルサイトでの効果的な情報発信の実施 ふるさと納税返礼品の売れ筋の商品内容・規格などの情報の事業者への提供による販売 (ふるさと納税額) の拡大

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>13 香南市中心市街地の振興</p> <p>《香南市》</p> <p>香南市の中心市街地において、補助金を活用した利用可能な空き店舗の改修等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、周辺の観光施設等と連携し、中心市街地を核とした地域の活性化を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎香南市 ◎香南市商工会 	商工業	<p>〈空き店舗対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 香南市空き店舗等対策事業費補助金により空き店舗改修等を支援 (H28～) R元：補助対象を商店街の活性化から商業活性化へと拡大 R3：対象業種拡大（高知県信用保証協会の定める保証対象業種を対象） R4：補助率及び補助上限額引き上げ補助率 1/5→1/4 上限額 400千円→500千円 商工会等HPへの空き店舗物件情報の掲載 (H30) チャレンジショップ実現可能性の検討 (R元) 空き店舗実態調査の完了 (R3) <p>〈運営体制の確立〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 香南市産業振興計画における取り組みの位置付け (R元) 香南市中心市街地活性化協議会を設置し、WGでの協議を経て、香南市中心市街地活性化計画を策定 (R4) 	<p>〈空き店舗対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 香南市空き店舗等対策事業費補助金による支援 ⇒新規開業 1件 <p>〈運営体制の確立〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 香南市中心市街地活性化計画の策定を受け、アクションプランの検討・実行 ⇒中心市街地事業者によるイベント等開催に向けた協議 (R4～) <p>〈イベント等の開催〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒R5.8：「回遊の仕組みづくり」班の取り組みとして、のいち動物公園とコラボしたスタンプラリーを開催 ⇒R5.10.14：「中心エリアの魅力向上班」の取り組みとして、フジグラン野市の健康フェスタ開催と併せて、市内事業者の紹介・出店ブースの設置を企画中 	<p>空き店舗等を活用した新規開業数</p> <p>〈目標値 (R5)〉 8件 (R2～5累計)</p> <p>〈出発点 (H30)〉 0件</p>	<p>〈R5年度末見込〉 — (R2～5累計)</p> <p>〈直近の実績〉 1件 (R2～4累計) 【R4年度末】</p>	D	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 香南市中心市街地活性化計画が策定され、中心市街地の事業者がアクションプランの実行を開始した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> アクションプランの検討・実行はR4年度からの取り組みであり、確実な実行 (R5～) と参加者の拡大が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 香南市中心市街地活性化計画 アクションプランの着実な実行 空き店舗等を活用した新規開業者への支援の実施
<p>14 香美市における特産品づくりと販売の促進</p> <p>《香美市》</p> <p>地域資源を生かした加工品や地域産品、伝統工芸品などの香美市ブランド商品の開発及び磨き上げにより、香美市観光協会において行っているインターネット販売や香美市ふるさと納税返礼品としての取り扱いを増加させることにより、香美市のPRと共に事業者の所得向上、地域の活性化を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎(一社)香美市観光協会 香美市内の事業者 香美市 	商工業	<p>〈特産品の開発〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援策（産振補助金（ステップアップ）、セミナー等）の紹介 香美市ものづくり会議物部川ブランド分科会での協議 <p>〈販売促進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> れんげいこうちによる地場産品販路拡大推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 県外見本市への出展募集 (H30～) 首都圏アンテナショップへ商品募集 (H30～) コロナウイルス経済対策「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」のイベント出店 (R3) れんげいこうちによる圏域事業者販売等支援事業 <ul style="list-style-type: none"> JA複合商業施設「とさのさと AGRI COLLETTO」への出品商品募集 (H30～) 県中山間地域対策課による特産品販売事業 <ul style="list-style-type: none"> 日曜市出店 (R2～) 金高堂書店前出店 (R2～) 集マルシェ出店 (R2～) <p>〈経営安定化・後継者育成〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営セミナー等の紹介・受講 開発商品の原価計算支援 	<p>〈特産品の開発〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒六次産業化セミナー活用による商品開発：1品 (R4) <p>〈販売促進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ふるさと納税返礼品買取額： <ul style="list-style-type: none"> R2：6,091万円 R3：4,967万円 R4：4,090万円 ⇒「香美市のばざー」販売額： <ul style="list-style-type: none"> R2：74万円 R3：82万円 R4：94万円 ⇒取扱特産品数 <ul style="list-style-type: none"> 香美市ふるさと納税 R元：222品目→R4：275品目 香美市のばざー R元：20品目→R4：23品目 その他の販売促進の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ネットヨタ高知でのイベント景品として採用 (R2) 地元産品で製造したお酒の開発・販売 <ul style="list-style-type: none"> 累計4,200本 (R2～) ANA搭乗キャンペーン商品への採用 (R3～) まるごと高知出品 (R3～) <p>〈経営安定化・後継者育成〉</p> <ul style="list-style-type: none"> HACCP研修開催 (R2) ⇒8事業者受講 	<p>特産品の売上高</p> <p>〈目標値 (R5)〉 7,600万円 (年間)</p> <p>〈出発点〉 6,380万円 (取り扱い開始からH30までの平均)</p>	<p>〈R5年度末見込〉 — (年間)</p> <p>〈直近の実績〉 4,186万円 (年間) 【R4年度末】</p>	D	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各社の商品の磨き上げが進められ、ふるさと納税返礼品の商品数が増加しているものの、売上の目標には達していない。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットショッピングの活用、PR強化による認知度向上 	<ul style="list-style-type: none"> 地域特産品の販路拡大 HPやSNS等を活用した情報発信の向上
				<p>取扱商品数</p> <p>〈目標値 (R5)〉 200品目 (年間)</p> <p>〈出発点 (H30)〉 194品目 (年間)</p>	<p>〈R5年度末見込〉 — (年間)</p> <p>〈直近の実績〉 298品目 (年間) 【R4年度末】</p>	S		

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>15 香美市の伝統産業（土佐打刃物、フラフ）の振興</p> <p>《香美市》</p> <p>国指定伝統的工芸品である土佐打刃物及び高知県伝統的特産品であるフラフの後継者育成及び販路拡大を図るため、鍛冶屋創生塾による人材育成とともに、観光事業との連携やイベント開催、ネット販売などを強化する。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎高知県土佐刃物連合協同組合 ◎フラフ製造業者 香美市商工会 (一社)香美市観光協会 香美市 	商工業	<p>〈人材育成〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 香美市ものづくり会議における土佐打刃物、フラフ振興に関する協議（R4：2回） 鍛冶屋創生塾の運営（伝統的工芸品産業支援補助金(国)（伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業補助金（R元～））） 鍛冶屋創生塾運営委員会の開催（R2～：14回） <p>〈伝統的工芸品等の普及及び販売促進、認知度向上〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 市役所庁舎をはじめ市内各所へのフラフの掲揚（H29～） 「フラフのある風景コンテスト」の開催（R3～） 観光客向け工場見学、フラフ染め体験の受入（R元～） 産業振興センターにてフラフ常設展示開始（R2～） フラフエコバックを制作・販売（R2～） 	<p>〈人材育成〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 鍛冶屋創生塾 第1期生：入塾（R元）3名 卒塾（R3）3名 ※うち新規就業3名 第2期生：入塾（R3）3名 卒塾（R5）3名 ※うち新規就業2名 講師補助1名 第3期生：入塾（R5）3名 	<p>創生塾入塾者数</p> <p><目標値（R5）> 9名 (R2～5累計)</p> <p><出発点（R元）> 3名</p>	<p><R5年度末見込> 9名 (R2～5累計)</p> <p><直近の実績> 6名 (R2～4累計) 【R4年度末】</p>	A	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 土佐打刃物の後継者育成を目的とした鍛冶屋創生塾は計画どおり開設し、入塾生（1期生～3期生各3名）の確保ができた。 1・2期生は、予定の期間で卒塾したのち、鍛冶屋に就業または講師補助として採用されている。伝統産業の担い手として今後の活躍が期待できる。 ※香美市内で就業（3名） 香美市外で就業（2名） 講師補助に採用（1名） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鍛冶屋創生塾卒業後の就業先の確保 継続した入塾者の確保 伝統的工芸品等の認知度向上 	<p>【土佐打刃物】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業生の就労先や研鑽の場の確保 他業者とのコラボによる新商品開発への取り組み 販売先の確保や販路開拓を進めるため、県内外の展示会や商談会への出展 <p>【フラフ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者は現状後継者の心配もなく、経営も安定している。新商品開発等には積極的でないことから、当面は商工会と連携して情報収集に努める。
				<p>新規就業者数</p> <p><目標値（R5）> 4名 (R2～5累計)</p> <p><出発点（R元）> 0名</p>	<p><R5年度末見込> 5名 (R2～5累計)</p> <p><直近の実績> 2名 (R2～4累計) 【R4年度末】</p>			
<p>16 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化</p> <p>《香美市》</p> <p>香美市の中心商店街である土佐山田えびす商店街の情報交流拠点施設「ふらっと中町」の情報発信力を強化し、商店街内の空き店舗の活用等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、商店街を含む地域の活性化を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎えびす街協同組合 香美市商工会 香美市 	商工業	<p>〈商店街を含む地域の活性化策の推進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ふらっと中町及び商店街等との連携強化 香美市中心商店街活性化協議会による中心商店街活性化計画の策定及び進捗管理（R2～） 策定：R2 見直し：R4 ふらっと中町の集客に向けた各種イベントの開催 空き店舗及びチャレンジショップを活用した開業支援 地域づくり支援員による商店街の空き店舗の実態調査の実施（H27～） チャレンジショップ運営委員会の開催（H28～） 	<p>〈商店街を含む地域の活性化策の推進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ふらっと中町におけるマルシェの開催⇒3回実施、延べ460人参加（R4） 「えびす昭和横丁」の開催⇒1回実施、1,039人参加（R4再開） チャレンジショップの運営⇒チャレンジャー7者の出店（R2～） イベントやチャレンジショップの集客によるふらっと中町の来場者数の増加⇒R元：3,649人→R4：4,889人 	<p>空き店舗を活用した新規開業数</p> <p><目標値（R5）> 16件 (R2～5累計)</p> <p><出発点（H30）> 3件</p>	<p><R5年度末見込> — (R2～5累計)</p> <p><直近の実績> 7件 (R2～4累計) 【R4年度末】</p>	D	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことを受け、マルシェや「えびす昭和横丁」等各種イベントが開催されるようになった。また、チャレンジショップの運営により、ふらっと中町を中心とした商店街の賑わいづくりに繋がった。 こうした中、香美市中心商店街活性化計画がR4年度に見直しされ、香美市・商店街・商工会等関係団体が連携して活性化に取り組むこととなった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街の空き店舗の活用の促進 チャレンジャーの確保 チャレンジショップ卒業生の域内への出店 ふらっと中町、チャレンジショップの集客数の増加 	<ul style="list-style-type: none"> チラシやSNSで継続して情報発信をする。 見直した計画について関係機関と連携して進捗管理を行う。

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>17 香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売</p> <p>《香美市》</p> <p>高知県産の食材を活用したクラフトビールを開発し、生産規模の拡大及び安定的な稼働体制を確立するとともに、商工会や観光協会等と連携し、地元商店街のにぎわい創出を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎(同)高知カンパニーニューブルワリー 香美市商工会 香美市 	商工業	<p>〈生産体制の構築〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 新商品開発に係る情報発信、製造機器の設置 (H30) 産業振興推進総合支援事業費補助金 (ステップアップ事業) H30: 44.8万円 生産量拡大及び品質管理に係る設備導入 (R元補正) 小規模事業者持続化補助金 ブランド体験型施設、ビール工場、タップルーム等の施設整備 (R3~4) 事業再構築補助金 ものづくり補助金 クラウドファンディング <p>〈積極的な地産外商の推進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> アンテナショップ「まるごと高知」での提供 (H30~) 香美市ふるさと納税・返礼品への登録 (H30~) 県産素材を使った季節限定品や地域限定品の開発 コンテスト等への参加 県版HACCP第2ステージの取得 (R3) 県外商談会への参加1回 (R5) フェアやイベントへの出店 <p>〈地元商店街のにぎわい創出〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 香美市内飲食店、量販店での提供・販売: 8店舗 地元イベントへの参加 	<p>〈生産体制の構築〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 新工場の整備により品質の向上及び増産体制の確立を図ることができた。 ⇒雇用の創出 (R5見込) 10名 (正規3、非正規7) <p>〈積極的な地産外商の推進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 県産素材を使って季節限定品の開発・販売をすることができた。 ⇒7種類 (R2~R5見込) 地域の農産物を使った地域限定品やOEM商品の開発・販売をすることができた。 ⇒10種類 (R2~R5見込) コンテスト等での受賞によりブランド化を推進することができた。 ⇒4回 (R2~R5見込) 	<p>クラフトビールの売上高</p> <p><目標値 (R5)> 4,100万円 (年間)</p> <p><出発点 (H30)> 1,805万円 (年間)</p>	<p><R5年度末見込> — (年間)</p> <p><直近の実績> 4,207万円 (年間) 【R4年度末】</p>	A	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年半で順調に売り上げを伸ばしてきており、新工場の整備により、更なる生産量及び売り上げの増加が見込まれている。 事業の実施により10名の雇用を創出している。また、飲食ブースを併設したことにより、観光客等の誘客にもつながっており、地域を代表する事業者にも成長しつつある。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の生産量の拡大に伴い、生産工程の効率化を図る必要があるが、設備導入の資金調達が課題。(主原料がホップになるため、産振補助金の対象とならない。) 販路拡大を進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生産工程の外注や機械化による生産体制の改善・効率化 県産素材を使った新商品の開発 商談会やイベントへの積極的な参加による販路拡大 周辺施設と連携した観光振興の推進

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>18 物部川地域における広域観光の推進</p> <p>《物部川地域全域》</p> <p>物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに、民間事業者の視点も踏まえて地域の観光資源を一層磨き上げ、情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎(一社)物部川DMO協議会 南国市 香南市 香美市 (一社)南国市観光協会 (一社)香南市観光協会 (一社)香美市観光協会 (株)ものべみらい 観光事業者 	観光	<p>〈広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 滞在型観光プラン整備計画の策定とデジタルデータ等を活用した施策の推進 観光地域づくり推進員の配置 (R3~) エリア内観光関係施設でのアンケート調査 <p>〈観光商品の充実・観光客の広域誘致〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 商談会等で旅行会社へセールス 物部川エリア版「ことりっぶ」発行 インスタグラム等SNSによる情報発信の強化 誘客多角化事業を活用したバリアフリー観光の推進 (R4) 「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」を活用したビーガンハラルメニューの開発 (R4) 観光庁ワーケーション事業 (R4) <p>〈地域連携による周遊促進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ものべがわフェスタ」の開催 (R4) 「ものべお仕事体験博」の開催 (R4~) ものべSSS認証制度の制定 (R2~) JR観光列車のおもてなし <p>〈物部川地域の観光に携わる人材の育成〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサル事業に係る先進地視察 ワーケーション視察 教育旅行の受入れ視察 インバウンド研修の実施 <p>〈活用した支援策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県広域観光推進事業費補助金 (R2~) 	<p>〈広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録DMO登録 (R4.3) エリア内観光関係施設でのアンケートにて計測 ⇒リピーター率 R3: 55%、R4: 52% 来訪者満足度 R3: 81%、R4: 83% <p>〈観光商品の充実・観光客の広域誘致〉</p> <ul style="list-style-type: none"> セールス等により、入込数や消費額が増加した。 ⇒主要物販施設入込客数 R2: 405,854人 R3: 421,016人 R4: 501,567人 主要宿泊施設の宿泊者数 R3: 46,200人 R4: 58,194人 観光消費額 R3: 2,012百万円 R4: 7,848百万円 <p>〈地域連携による周遊促進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ものべがわフェスタ」の開催 ⇒R4来訪者: 1,039名 ものべSSS認証制度の制定 認証施設: 28施設 (R4末時点) <p>〈物部川地域の観光に携わる人材の育成〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 食のユニバーサルツアーの実施 ⇒R4参加者: 50名 (計5回) 特別支援学校の修学旅行の受入れ (R4) 障がい者スポーツ指導員初級資格を職員2名が取得 (R4) 	<p>主要観光施設入込数 (9施設)</p> <p>〈目標値 (R5)〉 89.8万人 (年間)</p> <p>〈出発点 (H30)〉 70.7万人 (年間)</p>	<p>〈R5年度末見込〉 — (年間)</p> <p>〈直近の実績〉 72.3万人 (年間) 【R4年度末】</p>	C	<p>【評価】・【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響により、十分な集客につながらず、直近の目標達成率は84.5%となっているが、対前年度比は123.3%となっており、年々、入込数は増加している。 また、このエリアは空港、JR等、「高知の玄関口」であり、観光施設が多いという好立地にありながら、アンケート調査では、物部川エリア内の宿泊施設利用者は40%弱となっている。このことから、宿泊者向けクーポンの配布や宿泊とセットにした旅行商品の販売など、エリア内の宿泊客を増やす取り組みを行っており、今後も継続した対策が必要。 ターゲットの戦略については、物部川エリアの強みを踏まえたターゲット層やコンセプトをしっかりと定め、企業と連携した「お仕事体験博」など、ファミリー層向けの滞在型観光を目指した取り組みが進んでいる。 その他、観光庁事業を活用し、ワーケーションやビーガン、バリアフリー観光など、これからのインバウンド観光やインクルーシブ対応など先を見据えた様々な取り組みを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> インバウンド誘致に向けた営業活動、ワーケーション等を中心に、今後の観光ニーズに対応するため、地域密着型の旅行商品を造成し、販売を行う。 ユニバーサル事業を推進することで、エリア帯を「ユニバーサル観光地」としての認知度を向上させ、エリアへの誘客に取り組む。 「ものべがわエリア」ブランド浸透を図るプロモーション活動を行う。 3市の観光と歴史文化を伝える教育旅行のセールスを強化する。 3市、観光協会と連携した地域の観光人材育成を行う。

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>19 南国市の地域資源を活用した観光の推進</p> <p>《南国市》</p> <p>地域が誇る史跡資源(長宗我部等)を活用したイベント・ツアーへの参加をきっかけとして、周辺の観光名所・施設への来訪など市内観光を推進するとともに、ものづくりサポートセンターを核とした県外からの誘客促進に繋げる。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎(一社)南国市観光協会 南国市 南国市観光クラスター連絡協議会 市内各観光に関わる企業・団体・グループ 	観光	<p>〈観光の推進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光施設連絡会の設立 (R2) 地域の頑張る人づくり補助金を活用したガイド養成 (R3) なんこく旅たびクーポンによる誘客促進 (R3) 土佐の観光創成塾の受講→オンラインによる体験プランの販売開始 (R3~) <p>〈観光協会の体制強化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 南国市観光協会に専任スタッフを配置 (H24~) 新規会員の確保 	<p>〈観光の推進〉</p> <p>主要観光施設入込数のうち、県立歴史民俗資料館入館者数</p> <p>H30: 2.5万人 R元: 2.9万人 R2: 1.2万人 R3: 1.2万人 R4: 2.9万人 ※R2.9~R3.4耐震工事のため休館</p> <p>〔主要観光施設 ~R元 西島園芸団地、道の駅南国風良里、県立歴史民俗資料館 R2~ 西島園芸団地、道の駅南国風良里、県立歴史民俗資料館、南国市ものづくりサポートセンター (R3.3オープン)〕</p> <p>〈観光協会の体制強化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規会員の確保 R3: 3人→R4: 14人 	<p>主要観光施設入込数 ※</p> <p><目標値(R5(暦年))> 55.0万人 (年間)</p> <p><出発点(H30(暦年))> 46.9万人 (年間)</p> <p>※~R元: 3施設設計 R2~: 4施設設計</p>	<p><R5年度末見込> — (年間) 【R5(暦年)】</p> <p><直近の実績> 48.4万人 (年間) 【R4(暦年)】</p>	B	<p>〔評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン販売により、体験プランの申請・対応がスムーズになった。 新たなガイドの確保が進みつつある。 ものづくりサポートセンター隣接広場に出店することで、多くの県内外観光客への観光情報発信ができた。 コロナ禍の影響により、R2~R4は目標を下回ったが、徐々に回復傾向にあり、コロナに係る行動制限が解除されたR5は大幅な増加が期待できる。 <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光名所・施設を周遊させる取り組みの検討・実施 観光資源及び長宗我部元親ラリー、長宗我部フェスなどの既存の取り組み(イベント)の魅力向上 新規会員の参画による観光協会の体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> 観光メニューづくり・ブラッシュアップ 移動販売車を用いた観光情報発信の強化 新規会員の掘り起こし
<p>20 南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進</p> <p>《南国市》</p> <p>南国市観光の中核である観光農園を時代の変化、顧客ニーズに対応したリブランディングにより磨き上げ、魅力的な観光施設として広域的な観光客の誘致を推進するとともに、生産された青果の外商の拡大を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎(株)西島園芸団地 南国市 (一社)南国市観光協会 (一社)物部川IDMO協議会 南国市観光施設連絡会 	観光	<p>〈体制強化・全体コンセプトの構築とリブランディング〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人化 農事組合法人 (S46) →株式会社 (H25) 観光農園事業開始 (S54) 産業振興アドバイザー(課題一貫支援型)による助言・指導 SWOT分析の実施 (R2) ブランディング戦略の検討 (R2~) 事業計画の検討 (R2~R4) 観光ハウスのレイアウト見直し (R4) 県産振補助金を活用したロゴの変更とパッケージ等のリニューアルの実施 (R3) 栽培部門と販売部門の連携強化 OJTによる人材の育成・確保 <p>〈新商品の開発〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業振興アドバイザー(課題一貫支援型)の活用による新商品開発 (R2~3) 6次産業化セミナー実践コースの受講による新たなカフェメニューの開発 (R3) 	<p>観光客入込数</p> <p>R2: 64,789人 R3: 95,852人 R4: 120,023人</p> <p>〈体制強化・全体コンセプトの構築とリブランディング〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業構想の策定 (R4) 観光ハウスのレイアウト変更 (R4~5) ホームページの改修 (R2) 体温計・自動手洗い設備の導入 (R2) 通販サイトリニューアル (R3.6) イチゴ狩りのWEB予約システムの導入 (R3.12) SNSによる情報発信 店舗改修の実施 (R4~5) <p>〈新商品の開発〉</p> <ul style="list-style-type: none"> スイカパンの発売 (R3.7) 新たなカフェメニューの提供 (R4.1~) フルーツ券の拡充 (R4.5~) プリスパフェの発売 (R4.6) 	<p>観光客入込数</p> <p><目標値(R5(暦年))> 100,000人 (年間)</p> <p><出発点(R元(暦年))> 106,191人 (年間)</p> <p>年間売上額</p> <p><目標値(R5)> 3億6,000万円 (年間)</p> <p><出発点(R元)> 3億2,672万円 (年間)</p> <p>※会計年度: 8~7月</p>	<p><R5年度末見込> — (年間) 【R5(暦年)】</p> <p><直近の実績> 120,023人 (年間) 【R4(暦年)】</p> <p><R5年度末見込> — (年間)</p> <p><直近の実績> 3億4,372万円 (年間) 【R4年度末】</p> <p>※会計年度: 8~7月</p>	S	<p>〔評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標値は達成 産業振興アドバイザー(課題一貫支援型)の助言・指導等により、リブランディングを行い、HP、ロゴ、パッケージ等の刷新を進めており、施設全体の魅力度の向上が実現している。 栽培部門と販売部門との連携が進み、需要に応じた品目選定・栽培が行われている。 新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、R4年度以降の行動制限の緩和を受けて、営業活動も活発に行ったことにより、団体客は回復基調にある。また、販売商品の見直し(フルーツ券の拡充)等も進めていることから、目標を上回る来園者数・売上を確保している。 <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業計画の策定にまでは至ってない。 老朽化しているボイラー・電気設備等更新が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 西島園芸団地としてのブランド力の強化に向けて取り組んでいく。 老朽化設備の計画的な更新に向け、事業計画(資金計画)の策定に努める。

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性		
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価			
<p>21 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進</p> <p>《香南市》</p> <p>香南市の海と山と文化や歴史などの地域観光資源を活用したスポーツ・体験観光を推進するとともに、様々な観光スポット等と連携した周遊プランの造成・情報発信等を行うことにより、地域外からの交流人口の拡大を図る。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎(一社)香南市観光協会 香南市 地域の体験メニュー等提供団体 	観光	<p>〈旅行商品の造成と販売〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 香南市観光施設連絡協議会の開催 (R2~) 体験メニューの掘り起こし、磨き上げ (R3~) <p>〈地域の観光情報の発信〉</p> <ul style="list-style-type: none"> HP、SNS、OTA等を活用した情報発信 (R3~) 地域の特産品を活用したメニュー開発・提供 (R3・R4) 地域の特産品やグルメ情報の発信 (R4) <p>〈スポーツ・体験観光の推進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> サイクリングイベント31回 (R2~R5.7末) 香南市自転車活用推進計画策定 (R3~) 道の駅やす観光サイクリング拠点整備 (R3) 	<p>〈旅行商品の造成と販売〉</p> <p>主要10施設の観光入込客数</p> <p>H30：106万人 R元：104.5万人 R2：90.7万人 R3：96.2万人 R4：102.3万人</p> <p>主要10施設</p> <p>県立のいち動物公園 月見山こどもの森 ヤ・シバーク 絵金蔵 天然色市場 やすらぎ市 あぐりのさと 黒潮温泉 アクトランド 土佐カントリークラブ</p> <p>〈スポーツ・体験観光の推進〉</p> <p>参加人数</p> <p>H30：181人 R元：188人 R2：298人 R3：181人 R4：204人</p>	<p>主要観光施設入込数 (10施設)</p> <p>〈目標値(R5(暦年))〉 117.0万人 (年間)</p> <p>〈出発点(H30(暦年))〉 106.0万人 (年間)</p>	<p>参加人数 (スポーツ・体験観光)</p> <p>〈目標値(R5)〉 960人 (年間)</p> <p>〈出発点(H30)〉 181人 (年間)</p>	<p>〈R5年度末見込〉 — (年間) 【R5(暦年)】</p> <p>〈直近の実績〉 102.3万人 (年間) 【R4(暦年)】</p>	<p>〈R5年度末見込〉 — (年間)</p> <p>〈直近の実績〉 204人 (年間) 【R4年度末】</p>	<p>B</p>	<p>〔評価〕</p> <p>〈主要10施設の観光入込客数〉 コロナ禍の影響が大きく、R2~R4は目標を下回ったが、これまでの取り組みによりR2からは増加傾向にある。</p> <p>〈スポーツ・体験観光の参加人数〉 コロナ禍の影響が大きく、R2~4は目標を下回った。</p> <p>〔課題〕</p> <p>スポーツ・体験観光の参加人数が伸びない状況が続いており、観光客向けの情報発信の強化が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 旅行商品の継続的な企画・販売 体験メニュー等、地域の観光素材を活用した観光商品の開発 エージェントに対する効果的かつ効果的なプロモーション 情報発信の強化
<p>22 三宝山エリアにおける観光拠点化の推進</p> <p>《香南市》</p> <p>香南市のシンボルである三宝山を核として、近隣の観光施設等と連携しながら、様々な楽しみ方ができる体験観光エリアを作り出すことにより観光客を呼び込み、交流人口の拡大を目指す。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎民間事業者 香南市 	観光	<p>〈施設整備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間事業者による新たな事業構想の策定 (H30) 事業者、香南市及び県による開発に伴う土地やインフラ整備等についての協議の実施 (R元~) 山頂エリアの林地開発着手 (R2.2~) 事業計画を検討中 	<p>〈施設整備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 山頂エリアの林地開発がR6年度に完了見込 タウンエリアでは体験工房「act Factory」完成 (R5.6) 	—	—	—	—	<p>〔評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間事業者による整備計画の検討が継続されている。 アクトランド周辺では順次施設の整備が進められている。 <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業計画が検討中であり、一般市民・県民への公表に至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 香南市と連携し、市民・県民の理解を得ながら事業が実施されるよう、事業者と協議を続ける。 	

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>23 香美市における滞在型・体験型観光の推進</p> <p>《香美市》</p> <p>香美市の地域資源を生かした体験型観光メニューを充実させるとともに、主要な観光施設を核とした周遊プランの造成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口増を図り、滞在型・体験型観光を推進する。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎(一社)香美市観光協会 香美市 ㈱香北ふるさとみらい 地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体 	観光	<p>〈体験型観光メニューづくりと推進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> アンパンマンミュージアム 開館25周年記念行事 (R3) 龍河洞 <ul style="list-style-type: none"> 「西本洞/水の洞窟」オープン、龍河洞冒険王、龍河洞ナイト、90周年イベント (R3) べん峡温泉 <ul style="list-style-type: none"> 大栃中学校キャンプ体験 (R2) シカニクフェア (R3~) 宿泊3施設 (龍河温泉、湖畔遊、又ックスキッチン) の新設・改修 <ul style="list-style-type: none"> R3観光施設等緊急整備事業費補助金 (おもてなし旅館ホテル等環境整備緊急支援事業) の活用 香美市観光資源PV制作 <ul style="list-style-type: none"> R3香美市観光リカバリー事業の活用 巨木・銘木に出会う、香美(神)巡り (R4) おしゃれcafe巡りキャンペーン (R4) <p>〈観光協会の組織体制の充実と取り組みの推進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光協会のHPやSNS、広報誌を活用した情報発信 「香美市に泊まろうキャンペーン」(R3~) 「香美市観光プレミアムチケット事業」(R3) の実施 <p>〈香北エリアを中心とした観光活性化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> kami trip <ul style="list-style-type: none"> 学芸員とめぐるアンパンマンミュージアムとやなせたかしの聖地巡り (R3) 天文講演会及び星空展望会、在所隕石里帰り展 (R3) 	<p>〈体験型観光メニューづくりと推進〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要3観光施設 (アンパンマンミュージアム、龍河洞、べん峡温泉) の入込客数 <ul style="list-style-type: none"> ⇒R2: 160,004人 →R3: 165,760人 →R4: 226,203人 「土佐塩の道トレイルランニングレース」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ⇒R2: 182人 →R3: 中止 →R4: 233人 「土佐塩の道30kmうおーく」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ⇒R2: 延期 →R3: 97人 →R4: 113人 →R5: 125人 観光資源の磨き上げ及び発掘 <ul style="list-style-type: none"> 「歴史・史跡に関する委員会」「宿泊・交通に関する委員会」の立ち上げ (H30) 及び委員会の開催 「歴史・史跡に関する委員会」及び「宿泊・交通に関する委員会」を「香美市は、まっことえいくじゃき委員会」に統合 (R4) 及び委員会の開催 <p>〈香北エリアを中心とした観光活性化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ザ・シックスタジアムかほくホテルアンドリゾートは大手旅行会社の宿泊予約サイトで高評価を得るなど、宿泊客が増加 (ホテル利用者数) <ul style="list-style-type: none"> ⇒R2: 5,649人 →R3: 4,236人 →R4: 6,097人 	<p>主要観光施設入込数 (4施設)</p> <p>〈目標値(R5(暦年))〉 30.0万人 (年間)</p> <p>〈出発点(H30(暦年))〉 24.5万人 (年間)</p>	<p>〈R5年度末見込〉 — (年間) 【R5(暦年)】</p> <p>〈直近の実績〉 23.3万人 (年間) 【R4(暦年)】</p>	C	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、感染症対策を講じたうえで各種イベントを実施した。令和4年度の主要3観光施設の入込客数はコロナ前の水準に戻りつつあるものの、目標には達していない。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験観光メニューの受入体制や窓口機能の強化 香美市観光協会とDMO協議会が連携した新規イベントやツアーの定期的な開催、戦略的なPRの実施 べん峡温泉の利活用策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 主要3観光施設の体験型観光メニューの企画の推進 地域の観光資源を活用した、イベント等の企画の推進 各宿泊施設と、観光施設・イベントとの相乗的な利用客の増加を目指したキャンペーンの実施

項目名及び事業概要	分野	取り組みの概要	具体的な成果 (可能な限り具体的な数値を記載)	目標値や実績等		3年半の取り組みの総括		今後の方向性
				目標値 出発点	令和5年度末見込 直近の実績	評価	これまでの取り組みについて、 成果を踏まえた総合評価	
<p>24 龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進</p> <p>《香美市》</p> <p>H29.11月に龍河洞エリア活性化協議会が策定した「龍河洞エリア活性化基本計画」に基づき、関係機関が連携し、エリア全体の誘客促進に向けた取り組みを推進していく。</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎(公財)龍河洞保存会 ◎(株)龍河洞みらい 龍河洞エリア活性化協議会 香美市 	観光	<p>〈基本計画の推進及び施設等の改修〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐車場の動線整理及び更衣室の改修 高知県観光拠点等整備事業費補助金 R2: 7,225千円 老朽化施設の解体及び雨よけ施設の整備 高知県観光施設等緊急整備事業費補助金 R3: 42,958千円 西本洞の開設 (R3) デジタルルーム等の整備 (R4) 香美市観光施設等緊急整備事業費補助金 (市単独補助) 名称 龍河洞情報館 (愛称 さくら) <p>〈広報・PR〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅行代理店や宿泊施設等へのPR (R2~) 観光説明会、商談会等への参加 (R2~) 県内外の小中学校への校外学習のPR R2: 764校、R4: 1,191校、R5: 1,700校 テレビCMの放映90回 (R4) PR動画の作成 (R4) <p>〈集客イベントの開催〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節ごとの集客イベントの実施 (R2~) 	<p>〈基本計画の推進及び施設等の改修〉</p> <p>⇒入込客 (入洞者) 数の増加 R2: 7.6万人 →R3: 7.7万人 →R4: 11.3万人 (うち西本洞コース体験者数) R3: 144人 →R4: 152人 (開洞期間: 4/29~10/31)</p> <p>⇒雇用創出 (正規、非正規合算) R2: 23人 →R3: 25人 →R4: 31人</p> <p>〈広報・PR〉</p> <p>⇒遠足や校外学習利用の増加 R2: 87校、5,673人 →R3: 162校、8,376人</p> <p>〈集客イベントの開催〉</p> <p>⇒イベントによる集客の増 龍河洞冒険王 R2: 43日、1,356人 →R3: 11日、920人 龍河洞ナイト R2: 133日、1,830人 →R4: 31日、1,040人 龍河洞まつり R4: 1日、652人</p>	<p>観光客入込客数</p> <p>〈目標値(R5(暦年))〉 15.0万人 (年間)</p> <p>〈出発点(R元(暦年))〉 12.6万人 (年間)</p>	<p>〈R5年度末見込〉 — (年間) 【R5(暦年)】</p> <p>〈直近の実績〉 11.3万人 (年間) 【R4(暦年)】</p>	C	<p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨よけ施設の整備、西本洞の開設、情報館の整備により、新たな魅力を発信しており、入込客数の増加につながっている。 目標には達していないものの、集客イベントの開催や活発な広報活動により、入込客数が増加した。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化施設や閉鎖施設の活用方法が未定。 運営、ガイドにおける人材不足。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報館で提供する情報の内容充実 集客イベントの開催 サイン工事 (~R6) による利便性の向上 老朽化施設の活用を含めた龍河洞エリア全体の整備の方向性について検討